

フリー風

(現場)からの風

宮田 守男

数年に一度、秋分の日程で実現する9月の大型連休のシルバーウィーク。2003年から敬老の日が第3月曜日で固定され、

今年は秋分の日が翌々日になり、19日の土曜日から5連休となつた。好天にも恵まれ、県下各地から昨年より入込客が増えたとの明るい情報が届けられた。しかし、次の大型連休は11年後の26年になる見込みだ。地方経済の活性化には、大型連休が果たす効果があることを実証した事は確かだ。多額の予算を必要としない施策に、もっと関心が高まればと願ってしまう。

この連休を利用し、姉が帰郷した。善光寺の御開帳に帰郷できなかったので、家族で善光寺に向かうが、徒歩にするが、境内も大勢の参拝者。お昼に食べた蕎麦にもガッカリしたようだ。白馬長野線の料金所にも料

想像通りの大混雑。駐車場に入れない車で、少しも前に進めず善光寺参拝組は、下車して車や県外車は、細い道を高速で走行していく影響が心配になる。

帰郷した姉と、外食飲食店が経営で見る事の困難さも理解できる。松本や長野周辺まで工

事を面白いだろ。う店は限られる。たまには、違う店にと思うこともある。食の魅力は、観光地にも大切な視点だ。

だが、定住人口の小さな地域で、数多くの弱点を与えるだけだ。

（NPO法人信州地域社会フォーラム理事・森上白馬村）

観光産業にとって、外食産業も大切だと考えてみませんか

金を支払うための長蛇の列、しかも通過ゲートは1か所のみだ。観光長野県として、お客様への歓迎の心づくしが欠落しているのが残念だ。消費税増税時に、普通車210円の金額設定。この金額の

支払いに時間を要して

いるのではと思つてしまつ。料金の必要なな

い道へと迂回した大型

車や県外車は、細い道

を高速で走行していく影響が心配になる。

帰郷した姉と、外食飲食店が経営で見る事の困難さも理解できる。松本や

長野周辺まで工

りアを上げて、

食の魅力をアピールで

きないか検討する事

だ。路線バスの運行時

間の拡大を検討してみ

る事もできるだろう。

その経費を誰が負担で

きるのか。松本や長野で夜の一時を楽しむフ

ランを旅行商品化する



利便性を目的とした有料道路、料金所システムで渋滞している現場がある。

夜10時以降も魅力ある観光地にする取り組みの必要性を考えてほしいと思つてゐる。

特に外国人観光客の増加を予想した時、これまでの時間帯のみで受け入れる事は、他の観光地との競争に弱点を与えるだけだ。

（NPO法人信州地域社会フォーラム理事・森上白馬村）